

保護者様

杉並区立馬橋小学校

校長 小澤伸生

馬橋小の学校安全管理について

日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。
杉並区では、過去区内小学校で起きた児童の生命に関わる事故を教訓にして、2度と学校で死亡事故を起こさないという決意の下、毎年6月に「いのちの教育月間」を区内全小中学校で行っております。本校でも今月最初の放送朝会で、校長から児童に「命の話」を講話いたしました。また本校では以下のような安全指導を、年間を通して行っています。この機会に学校の取り組みを各ご家庭にお知らせし、ご家庭共に児童の安全について情報を共有いたします。

○安全点検（対物と対人）

- ・職員の退勤後に、施設管理員と契約警備会社職員が校舎施設と校庭・体育館を巡回し、危険箇所が無いかな毎日確認しています。
- ・毎月、全教員が教室等の分担箇所を点検し、調査票（具体的な点検項目があります。例：コンセントにぐらつきがないか。窓際に児童が登る机等が置いてないか。等）に結果をまとめたものを管理職に提出しています。破損箇所等は速やかに修理を行っています。
- ・年二回（4月始業式前日、8月始業式前日）、全教員をグループに分け、複数の目で校舎、設備等の点検を行います。複数の人数で行うことにより、教員の危機管理意識を向上させる目的もあります。
- ・週1回、生活指導を中心とした職員打ち合わせを行っています。校内外で起こった小さな事故も、教員間で情報共有し、教訓を一般化することで新たな危険を回避することを目的としています。状況に応じて管理職から全教員への指導を行うこともあります。

○安全指導

- ・「学校安全計画」を作成し、学級活動の中で、各月の重点目標と各教科の安全な学習の為の指導項目（学習道具の使い方。等）、安全な学校生活（廊下や階段の歩行。等）について指導しています。
- ・学校行事を通して、自身の健康や安全について考える力を育てています。（セーフティー教室。月1回の避難訓練。着衣泳。等）

○その他

- ・教員は研修を通して安全管理についての危機意識やその回避、安全指導の手法について学んでいます。
昨年度からは新型コロナウイルスの流行により、対応と指導は更に多様になっています。今後もご家庭との連携で、児童の安全を守りたいと考えます。

本校の学校安全管理に関する取組の一例



水泳指導の前に、全教員で指導における共通理解とプールでの安全のための対策（排水溝、水深、プールサイドでの立ち位置等）について研修を行いました。6月14日（月）



消防署の方をお招きして、教職員がAEDの使い方や心肺蘇生の方法を学びました。6月16日（水）



給食摂食後に児童が初めてアレルギーの反応を起こしたことを想定して、教職員が役割分担をしてシミュレーションする研修を行いました。事故が起こらないように備えるだけでなく、起きた場合の対応について共通理解しました。6月23日（水）